

とやま次世代自動車研究会

令和元年度 次世代自動車 第2回技術セミナー ～PHEVの革新技術とCASE革命への自動車産業の戦略～

開催のお知らせ

「とやま次世代自動車研究会」では、最新の技術や市場動向に関する情報の提供及び、次世代自動車に関連する新商品・新技術の開発を支援します。

今回のセミナーは株式会社ナカニシ自動車産業リサーチと株式会社本田技術研究所から講師をお招きし、CASE革命に代表される自動車業界の大転換と産業構造の大変革に向けた、国内完成車メーカーの戦略を解説し、地域自動車産業に起こる変化や生き残りに必要な戦略を論じると共に、PHEVを中心とした電動化の最新技術とホンダの取り組みを紹介してもらいます。自動車業界の重大トレンドの本質と次世代自動車の最新技術に触れ、今後の経営や技術開発にお役立て願います。

【開催概要】

■日時：令和元年8月26日(月) 14:00～16:40 (受付13:30～)

■会場：富山県新世紀産業機構 技術交流ビル 2階 研修室

富山県富山市高田 529 TEL076-444-5636

■定員：50名 (受講料 無料)

■申込締切：令和元年8月21日(水) 定員になり次第締め切ります

【講演】

■講演1：『CASE革命 ～2030年の自動車展望と課題』

【講師】株式会社ナカニシ自動車産業リサーチ 代表 中西 孝樹 氏

【概要】デジタル化、知能化、電動化を受けて自動車産業は100年に一度の大転換期に立つ。クルマの価値は激変し、産業構造へも大変革が訪れる。この重大トレンドの本質を読み解きつつ、そのなかで国内完成車メーカーの戦略を解説し、地域自動車産業に起こる変化や生き残りに必要な戦略を論じる。

<http://nakanishiresearch.com/>



【略歴】オレゴン大学卒。山一証券、メリルリンチ証券、JPモルガン証券東京支店株式調査部長、アライアンス・パーンスタインのグロース株式調査部長を経由し、2013年に独立し(株)ナカニシ自動車産業リサーチを設立。日経金融新聞・日経ヴェリタス人気アナリストランキング自動車・自動車部品部門、米国 Institutional Investor 自動車部門ともに2004年から6年連続第1位保った。「トヨタ対VW 2020年の覇者をめざす最強企業」「CASE革命2030年の自動車産業」(いずれも日経新聞出版社)など著書多数。

■講演2：『電動化社会の実現に向けたHondaの取り組み』

【講師】株式会社 本田技術研究所 オートモービルセンター 商品企画室
LPL 主任研究員 清水 潔 氏

【概要】自動車業界としてCO2削減に向けた代表的な方向性である電動化社会の実現が求められている。これに向けたホンダの取り組みを、背景、ホンダの環境車開発の歴史と、ホンダが次世代電動車と位置付け、環境性能とクルマとしての走る楽しさや使い勝手の良さを高次元でバランスさせた、クラリティPHEVのパートレイン革新技術を交えて紹介する。<https://www.honda.co.jp/RandD/>



【略歴】1984年本田技研工業(株)入社。本田技術研究所にてエンジン開発業務を経て、電動パワートレイン開発に従事。バッテリー電気自動車EV-PLUSの開発で高圧電装機器の設計を担当、その後FCVのパワートレイン設計担当となる。FCX(FCV)では担当領域の開発リーダー、開発責任者代行を経験した後、燃料電池パワートレイン設計室のマネージャーを務める。2007年ホンダR&Dアメリカズ ロサンゼルスセンターに駐在しZEVのリサーチ業務に従事。2013年よりクラリティシリーズの開発責任者(LPL)となり現在に至る。

【お申込み・お問い合わせ先】 (公財) 富山県新世紀産業機構 イノベーション推進センター 菊井宛
〒930-0866 富山市高田 529 TEL 076-444-5636 FAX 076-433-4207 e-mail : m.kikui@tonio.or.jp

主催：とやま次世代自動車研究会